

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		地域共生型福祉・雇用連携施設整備事業					
事業の概要		<p>当町では現在設置されている特別養護老人ホームの空室がなく、そのために入所ができない高齢者が待機者として増加しており、政策的な課題にもなっている。</p> <p>与謝野町内の社会福祉法人が旧加悦町地域で特別養護老人ホームに障害者授産施設も組み込んだ複合型の社会福祉施設を建設することを計画しており、与謝野町としても当該法人と一体となって本事業に取り組み、高齢者・障害者福祉及び雇用の分野で抱える課題の解消を目指すこととなった。</p> <p>そのために、現在、京都府が所有している建設予定地の土地を与謝野町が購入し、その土地を法人に貸付け、法人が施設建設・運営を行っていくことが合理的かつ効率的であると判断し、まず底地となる土地の購入を行うこととなったが、購入した土地の貸付にあたり測量と造成工事等を行う。</p> <p>[事業内容] 測量委託業務、造成等工事</p>					
		事業期間	平成22年11月10日～平成23年3月31日				
		総事業費	10,344	本年度事業費	10,344	交付金交付額	5,170
事業評価	事業の必要性	当町では現在設置されている特別養護老人ホームに空室がなく、そのために入所ができない高齢者が待機者として増加しており、政策的な課題にもなっており、新たな社会福祉施設施設の整備が緊急の課題となっている。					
	事業の有効性	今回の整備事業により、入所待機者の解消や雇用の増大等、当町が抱える福祉施策等の課題の解決に繋がる。					
	事業の効率性	行政と福祉分野にて専門的に事業を展開している法人が一体となって、新町が抱える福祉施策の課題に取り組むことにより、住民のニーズに合った無駄のないサービスを提供できる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		<p>3 リーディング・モデル成果</p> <p>今回整備される社会福祉施設は特別養護老人ホームに障害者授産施設等の施設も組み込んだ複合型の社会福祉施設であり、建設地の周辺には小中学校等がある加悦地域の中心地に位置することから、従来の郊外型の福祉施設から脱却した、地域の中心で高齢者の介護や障害者自立支援に取組み、地域を活性化させる重要な拠点となり得る。</p>					
<p>4 広域的波及成果</p> <p>今回の事業により、町内の他地域よりも体制が不十分であった加悦地域に福祉施設が整備され、高齢者介護や障害者の自立支援の分野において、町内全域での均衡を図ることができるだけでなく、行政と法人が一体となって、新町が抱える福祉施策の課題に取り組むことにより、合併後の一体感の醸成に資するものである。</p>							
<p>5 行財政改革に資する成果</p> <p>行政と福祉分野にて専門的に事業を展開している法人が一体となって、新町が抱える福祉施策の課題に取り組むことにより、住民のニーズに合った無駄のないサービスを提供できる。</p>							
<p>6 その他の成果</p> <p>今回の事業により、先述した待機者の解消だけでなく、地域の雇用創出にも繋がり、疲弊する地域経済の活性化にもつながることとなる。</p>							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。